親子をターゲットとした健康行動のきっかけづくり業務
仕様書

1　業務の名称

親子をターゲットとした健康行動のきっかけづくり業務

2　業務の目的

少子高齢化が進み、今後人生100年時代を迎えるに当たって、健康寿命が政令市でも低位にある札幌市では、健康の増進がより一層重要な課題となっており、子ども、働く世代、リタイア層など、ライフステージ別のきめ細かな働きかけが必要になっている。

このような中、子どもについては、近年、全国的に体力低下が課題となっており、特に札幌市は「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で男女ともに全国及び全道の平均を下回るなど、運動不足の傾向が見られているが、学校現場では授業を担う教員が他に多くの業務を抱え、部活動も縮小傾向にあるなど、限られたリソースの中で子どもの体力向上に取り組むことは難しい状況にある。

「子どもの体力低下・運動機会の減少」については、教育的側面だけでなく、「市民の健康」という側面からも対策が求められるものであり、札幌市と札幌市教育委員会に共通する課題として、協力して解決の糸口を模索している。

本業務は、こうした背景を踏まえて、「子どもの体力低下・運動機会の減少」という課題解決に向けた子どもの活動機会（きっかけづくり）を提供するとともに、子どもを介して親（家庭）に対してもアプローチを行うことにより、働く世代の健康意識の醸成及び行動変容を促すことを目的とする。

3　健康行動の定義

運動、栄養、睡眠、健康状態の見える化など、市民の健康増進につながる幅広い行動と定義する。

4　業務の対象

本市の小学生・中学生とその保護者（以下、「親子」という。）をターゲットとする。ただし、諸般の事情により、保護者が参加できない場合などに子供だけの参加を排除するものではない。

5　契約履行期間

契約締結日から令和８年３月31日（火）までとする。

6　業務内容

受託者は、下記項目に係る一切（企画、制作、運営、連絡調整及び費用の支払い等）を業務範囲として行うものとする。

なお、詳細の業務内容は企画提案の結果を受けて、札幌市（以下「委託者」という。）と受託者で協議し、調整するものとする。

⑴　さっぽろ圏スマートアプリを活用したウォーキングイベントの実施

・　さっぽろ圏スマートアプリ（別紙１参照）のスタンプラリー機能を活用した、親子で楽しめるウォーキングイベントを実施すること。

・　運動の習慣化、子どもの体力向上の観点から、３か月程度継続して実施するものとする。ただし、実施期間中に一定の休止期間を挟むことは差し支えない。３か月程度の間に楽しみながら習慣化できるよう、飽きさせない工夫を行うこと。

・　スタンプラリーは複数のコースを設定して差し支えないが、スタンプラリーのコース設定に係る費用については、受託者の負担とする（コース設定に係る概算費用：１コースあたり 100,000 円）。

・　スタンプラリーのコース設定に当たっては、アプリ管理事業者とも十分に打ち合わせを行うとともに、委託者の指示に従って事前の動作確認、開始日の動作確認などを必ず行うこと。

・　参加人数の制限は行わないが、参加者の把握や傾向を分析することなどを目的に事前申込を必須とし、受託者において申込フォーム等を用意すること。また、事前申込時は、参加希望者の基本属性や、参加者のさっぽろ圏スマートアプリのユーザーID などについて、合わせて確認すること（詳細は、委託者と協議の上、決定する）。

・　学校別の参加者数を実施期間中に計３回集計し公表するほか、より多くの親子に参加してもらえるよう、インセンティブの付与やゲーム性を企画に盛り込むなどの工夫を行うこと。併せて、参加者が自身の健康について考え、家庭内で話し合う機会提供となるような仕掛けを歓迎する。

・　イベント参加者に対しては、本事業の事業効果測定や、子どもの体力低下・運動機会の減少に対する市民の意識を把握することなどを目的としたアンケート調査を行うこと。なお、調査項目は委託者において作成する。

⑵　健康イベントの実施

ア　企画内容

・　親子で一緒に楽しめる健康イベントの企画・運営を行うこと。

・　非積雪期（９～11 月を想定）と積雪期（１～３月を想定）にそれぞれ１回以上のイベントを実施すること。

・　親子が一緒に楽しく身体を動かす企画をメインとすること。加えて、イベントをきっかけとして運動の習慣化につながる仕掛けや、食事や睡眠など、他の健康行動の要素を盛り込むことを歓迎する。

・　企画の内容により、事前申込制として参加人数を制限することは差し支えないが、より多くの人が参加できるような工夫を行うことが望ましい。

イ　アンケート調査

イベント参加者に対しては、本事業の事業効果を測定することを目的としたアンケート調査を実施すること。なお、調査項目については委託者において作成する。

⑶　広報物の作成

ア　実施内容

上記⑴～⑵について、広く周知するための、リーフレットのデザインを２点作成すること。

イ　留意点

・　リーフレットのデザインは、上記⑴及び⑵の非積雪期のイベント周知用として１点、上記⑵の積雪期のイベント周知用として１点を作成すること。

・　リーフレットは、４色カラー、A4 サイズ、最大２ページとする。

・　校正回数は、３回以上とする。

・　印刷と札幌市教育委員会管轄の小学校・中学校を介した配布については、委託者において行うことから、本業務での実施は求めない。

ウ　成果物

・　完全版下データ（Adobe Illustrator 形式）

※アウトライン化する前のデータも含めること。

・　印刷用 PDF データ

エ　納品期限

周知するイベントの１か月前を目途に納品すること。なお、詳細な日時については、委託者の指示によること。

⑷　独自提案

本業務を実施するにあたり、追加することが効果的と考える独自提案があれば提案すること。

７　事業規模

5,000,000 円（消費税及び地方消費税の額を含む）とする。

なお、当該金額は事業規模を示すものであり、契約は別途設定する予定価格の範囲内で行う。

８　業務実施にあたっての留意点

⑴　イベントの費用対効果を高めるため、「さっぽろウェルネス推進会議」の参画企業をはじめ、民間企業や団体、大学など、企画出展、店舗や媒体活用による周知、費用の一部負担や協賛といった協力を積極的に募ること。

≪さっぽろウェルネス推進会議について≫

身体的･精神的･社会的な様々な要素が関係するウェルネスの推進に向けて、産学官が連携し、互いの取組や知見を共有するとともにネットワークを広げる場として立ち上げた会議であり、企業、プロスポーツチーム、関係団体、有識者が参加している。現時点での参画企業は別紙２のとおり。

⑵　屋外でイベントを実施する場合には、悪天候時の対応について、代替日の実施や代替企画の実施を予め検討し、事前に委託者の承認を得ること。なお、イベントが中止となる場合については、実施内容の変更等について、委託者と受託者で協議するものとする。

⑶　イベント参加者の怪我や公共施設の損傷等を補償するための保険に加入すること。

⑷　市民からイベント参加費を徴取する場合は、提供する物品・サービスや保険料など、参加者に還元される実費相当程度とすること（参加費の額は事前に委託者と協議が必要）。

⑸　イベント開催により発生するゴミについて、公園内や周辺道路、周辺地域に散乱されることがないように対策を講じること。

⑹　イベント会場内外で積極的に誘導を行い、参加者及び非参加者の円滑な移動や混雑防止策を講じること。

⑺　違法駐車・駐輪や、周辺道路で混雑が発生しないよう誘導員の配置等の対策を講じるなど、公園内や周辺地域の環境に十分配慮すること。そのうえでも苦情等があった場合には、誠実に対応すること。

9　権利関係

⑴　受託者は、本業務の遂行にあたり、第三者の著作権、著作者人格権及びその他特許権、商標権を含むいかなる知的財産権、プライバシー又は肖像権・パブリシティ権その他の権利を侵害しないことを保証すること。第三者から成果物に関して権利侵害の訴えその他の紛争が生じたときは、受託者の費用および責任において解決するものとし、かつ札幌市に何らかの損害を与えたときは、その損害を賠償するものとする。

⑵　受託者は、成果物の納入、検査合格後、本業務の成果物に関連する著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む。）を、直ちに無償で委託者に譲渡するものとする。委託者は、著作権法第 20 条（同一性保持権）第 2 項に該当しない場合においても、その使用のために目的物の改変を行うことができるものとする。

⑶　受託者は、成果物に関する著作者人格権を、札幌市または札幌市が指定する第三者に対して行使しないものとする。

10　個人情報の取扱い

受託者は、本業務を履行するにあたって、個人情報を取り扱う場合は、「個人情報の保護に関する法律」及び「個人情報取扱安全管理基準（別紙３）」を遵守するとともに、個人情報の取扱状況について委託者に報告すること。なお、詳細については、別途指示することとする。

11　環境への配慮について

本業務においては、委託者が運用する環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷低減に努めること。

⑴　電気、水道、油、ガス等の使用にあたっては、極力節約に努めること。

⑵　ごみ減量及びリサイクルに努めること。

⑶　レスペーパーを徹底するなど、紙の使用量を減らすように努めること。

⑷　自動車等を使用する場合は、できるだけ環境負荷の少ない車両を使用し、アイドリングストップの実施など環境に配慮した運転を心がけること。

⑸　業務に係る用品等は、札幌市グリーン購入ガイドラインに従い、極力ガイドライン指定品を使用すること。

12　その他

⑴　業務の履行にあたり、疑義が生じた場合は、委託者及び受託者双方の協議により処理する。また、この仕様に定めのない事項は、委託者及び受託者で協議の上、決定することとする。

⑵　本業務の活動状況や成果等について本市と情報共有するため、定期的に進捗報告、打ち合わせを行うこと。

⑶　委託者又は委託者の関係者から提供を受けた資料等は、本業務にのみ使用するものとする。ただし、第三者に提供する場合であらかじめ委託者の承諾を得たものについては、この限りではない。

⑷　本業務の遂行に伴う打ち合わせ、資料、計画等の内容については、外部に漏洩しないこと。なお、本契約が終了し、また解除された後においても同様とする。

⑸　制作物のデザインや配色については、札幌市が作成した「広報に関する色のガイドライン」（https://www.city.sapporo.jp/koho/color/）を参照し、誰にとっても見やすく、分かりやすいデザインとなるよう配慮すること

⑹　本仕様書に定める事項のほか、札幌市契約規則及び関係法令を遵守し、誠実に業務を遂行すること。

13　本件に係る問い合わせ先

札幌市保健福祉局ウェルネス推進部ウェルネス推進課　大津・森
〒060-0002　札幌市中央区北２条西１丁目１-7 ORE 札幌ビル 7F
電話：011-211-3511　FAX：011-211-3521

「さっぽろ圏スマートアプリ」では、ヘルスケアやスタンプラリーなどの機能を拡張しながら、
属性（性別・年齢）や活動量（歩数、取組参加）と、アンケートを結び付け、
市民の傾向やニーズなどの特性分析、より効果的な取組・サービスなどの創出につなげます

≪ヘルスケア・企業対抗歩数競争≫

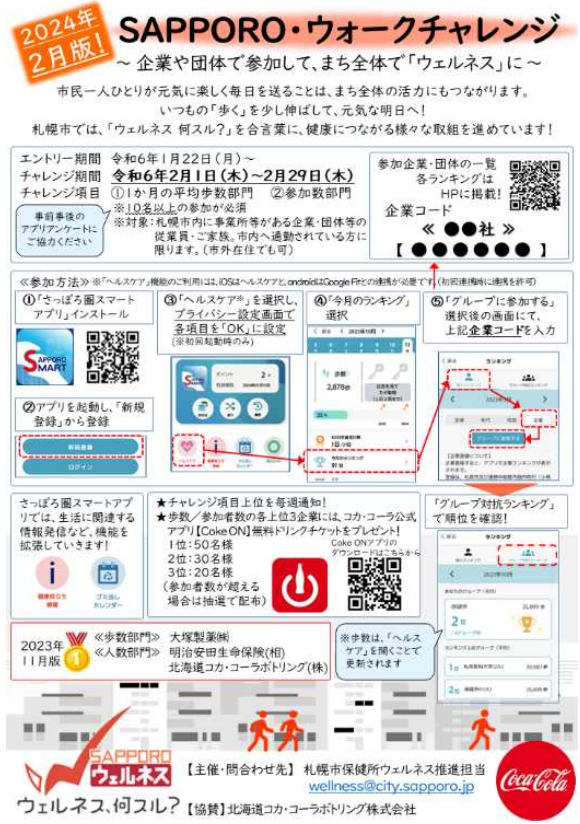
ヘルスケア

目標歩数：8,000歩までの達成状況を確認

日々の体重や血圧が記録可能
歩数・体重・距離はグラフでも表示

企業内や、年代、性別のほか、企業対抗ランキングを実施！

ランキング表示にて動機づけ、
社内交流促進にも寄与



企業ランキング参加・実施の流れ

参加希望企業は、アプリ記載のメールアドレスから申込

札幌市にて企業情報を登録し、参加コードを発行

お知らせにて途中報告も可能！

企業担当者から、参加者にコードを通知し、参加者はアプリからコードを入力して参加！

期間終了後は、実績に応じてインセンティブ付与！

札幌市公式アプリ活用　2/2

≪スタンプラリー≫

スタンプラリー

事前に設定したチェックインポイントに、GPSまたはGPS+QRコード読取でチェックイン

アプリ内地図で拠点を確認して、参加！

◎　「イオンモールウォーク」の場合

①　モール内にポイントを設定

②　各拠点の説明文を設定

（例：健康まめ知識）

③　施設内にＱＲを設置

④　施設及びアプリで周知

⑤　達成者に抽選でインセンティブ

（例：コーク・オンチケット）

スタンプラリーの流れ

チェックイン拠点・拠点紹介文・実施期間等を設定

QR読取でのチェックインを行う場合はQRの張り出し

スタンプラリー開催！
※お知らせ機能で周知！

期間終了後は、チェックイン実績データで確認、必要に応じてインセンティブ付与！

≪お知らせ≫

お知らせ

アプリユーザーに対して、プッシュ通知などで、情報発信が可能

≪アンケート≫

アンケート

任意のアンケートを設定し、ＩＤ連携でアンケート対象の設定やクロス分析も可能

≪健康役立ち情報≫

健康役立ち情報

札幌市サイトに誘導し、イベントやコラムなど、情報発信

≪ＷＥＢリンク≫

えきバスナビ

「えきバスナビ」など、他のサービスやサイトへのアクセス可能

ウェルネス連携企業情報シート（令和７年１月時点。67企業・団体。）

（50音順）

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	札幌支店　地域戦略室
高齢化社会が進展する中で健康寿命の延伸は人･社会･企業にとって重要なテーマと捉え、社会的課題解決に取り組む商品･サービスを提供しています。 ･保険とAIを活用した従業員の運動・睡眠・食事などの行動変容を促すアプリ「Myからだ予想」を組み合わせた「健康経営支援保険」のご提供 ･テレマティクス自動車保険で展開する脳トレは、高齢者の運転寿命延伸に繋がり、外出機会の増加による健康増進・地域社会の活性化へ貢献してまいります。	
MS&AD あいおいニッセイ同和損保	当社グループ企業のコンサルティング会社を活用した健康経営取組課題に対するアドバイスや情報のご提供 ・健康経営にこれから取り組む企業さまや、個別課題を改善したい企業さまに対する「健康経営支援サービス」や「健康経営取組診断」のご提供 ・スポーツによる健康増進・地域活性化のサポート

アクサ生命保険株式会社	札幌営業所
健康経営支援プログラムを積極的に取り組んでいます。 ①健康経営優良認定申請サポート ②ブライト５００認定取得サポート ③健康習慣アンケート＆フィードバックの実施 ④健康経営セミナーの実施 ⑤健康経営サポートパッケージ	
AXA	大塚製薬・札幌市・全国健康保険協会との協業 オンラインセミナーの実施（6月13日） 「仕事のパフォーマンスと食事の話」 講師：フォルティウス　船山　弓枝　氏

株式会社アシックス	ヘルスケア営業部
当社は、「スポーツで培った知的技術により、質の高いライフスタイルを創造する」をビジョンとして掲げ、「健康快適」 を事業領域のひとつとして設定しています。 高齢化社会や健康に関する意識が高まる中、企業の健康度を数値化し健康増進をサポートする「アシックスヘルスケアチェック/ASICS HEALTH CARE CHECK」を展開、当社の研究所がもつ「人に対する測定・分析技術、運動プログラムに対する豊富な知見」を最大限活用し、人々の健康を総合的にサポートするサービスを主に企業や自治体に向け実施しています。	
asics	【取り組みの方向性】 ・働く世代の健康無関心層等への日常の運動量の増加の課題解決に貢献する ・当社研究開発部門やグループ企業と連携し、健康課題解決に向けたソリューションを検討する 【今後検討している取り組み】 ・札幌市内の企業に対する、当社健康ソリューションの提供(アシックスヘルスケアチェック、歩行姿勢測定、健康づくりセミナーの実施など)

アフラック生命保険株式会社	札幌総合支社
当社は、「がんに苦しむ人々を経済的苦難から救いたい」という日米両国の創業者の強い想いのもと、１９７４年に日本で初めてがん保険を提供する保険会社として創業しました。以来、この想いを受け継ぎ、日本の社会に根差した保険会社として、約５０年にわたり多くのがん罹患者の方を支援しています。 その一環として、全国の自治体と連携し「がんを知る教室」を開催しています。学校をイメージしたがんに関する展示セットで、学科ごとにまとめたがんに関する情報パネルやがんに関する映像、乳がんの自己検診を疑似体験できるコーナーなどで構成されており、全国のショッピングセンター等で開催しています。	
「生きる」を創る。Aflac	アフラックミラー・VRゴーグルなどデジタルキットを活用した健康意識向上に向けた企画についての提案やその他がん啓発関連セミナーやイベントへの協賛を予定。

株式会社アークス	サステナビリティ推進室
アークスグループは、北海道・東北・北関東に拠点を置く食品スーパーマーケットグループです。 「地域のライフラインとして価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献する」というグループ理念の下、身近なスーパーマーケットの強みを活かし、札幌市様をはじめ産学連携や他業種とのネットワークを通じて地域の健康寿命の延伸に貢献してまいります。	
ARCS	・2023年より北海道大学様、札幌市様、ツルハ様、ラルズ、アークスの5社共催によりスーパーアークス北24条店にて健康チェックイベントを実施。 ・2025年は今年度に引き続き年4回開催。「トトノエル」「ウゴク」をテーマにしたブース等を設置予定。

イオン北海道株式会社	まちづくり推進部地域連携グループ
「北海道のヘルス＆ウエルネスを支える企業」になることを経営ビジョンで掲げており市民の「健康」で「楽しい」、豊かな生活をお手伝いいたします。23年11月より当社店舗を利用した健康イベントを開催しており24年度は4回実施しております。また、通年利用できる、ウォーキングコースを市内3店舗で設置して市民に活用頂いております。22年5月より開始しているパラスポーツ体験会は、25年1月末現在で12回開催。今後は当社のみならず様々な方とコラボして健康イベントを定期的に開催していきます。	
AEON イオン北海道株式会社	・パラスポーツ体験会の開催。 ・店舗を活用した「健康イベント」の開催。 ・カゴメ「ベジチェック」導入による野菜摂取量の見える化で健康管理に役立てていただく。 ・今後は他企業と共同で健康イベントを開催できればよいと考えております。

エア・ウォーター北海道株式会社	事業企画部 インキュベーショングループ
エア・ウォーターグループでは、「地球環境」と「ウェルネス」という事業軸のもと、人と環境にやさしいものづくりを通じて、社会に貢献し、地球環境の保全を図り、空気や水などの資源を無駄なく使用、循環させる地球資源循環カンパニーを掲げ、次の世代に住みよい地域と社会の実現を目指し事業展開してきました。これからも「地球環境」「ウェルネス」をテーマに新しい事業をつくり、新たな成長を目指していきます。	
エアウォーター北海道株式会社 地球の恵みを、社会の笑みに。	2024年12月に札幌市桑園地区にイノベーション施設「エア・ウォーターの森」をオープンしました。エア・ウォーターの森では、「健康/ヘルスケア」や「農・食」をテーマとしたコンソーシアムの組成や地域市民へ向けたウェルネス増進イベントを企画して参ります。

江崎グリコ株式会社	北海道東北エリア支店
Glicoグループは存在意義(パーパス)「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け、社員全員が一丸となって健康経営を推進し、一人ひとりが健康の保持・増進に取り組んでいます。この機会をいただきましたことを感謝し、今後は札幌市と協業で市民のウェルネス向上に貢献してまいります。	
すこやかな毎日、ゆたかな人生 Glico	企業とのタイアップで、テーマに基づく勉強会やセミナーの開催を予定しております。

SDエンターテイメント株式会社	営業企画課
フィットネス事業・企業主導型保育事業をコア事業に、ジュニアスクール事業・介護（通所/訪問）事業、PBサプリメントのEC事業・就労継続支援事業などお客様の生涯に寄り添ったウェルネスサービスを展開しています。	
SD エンターテイメント株式会社	当社は「幸せなくらしはココロとカラダの健康から」という想いのもと、創業106年のココロとカラダの健康を支える北海道で誕生したウェルネス企業として、地域の皆様に密着したサービスの提供や社会貢献活動にこれからも取り組んで参ります。

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社　北海道支社	ソリューション営業部門
健康や医療などの多様なICTソリューションのご提案を通じて、市民みなさまの健康寿命を延伸し、心身の健康を支えます。 本連携を通じて、同分野のみならず異分野の企業みなさまとの連携を加速させ、市民みなさまのウェルネス向上へ貢献いたします。	
docomo business	・市民みなさまのウェルネス向上に向け、ドコモグループにおける健康/教育サービス情報を提供 ・参加企業みなさまとの連携により、新たな取組へチャレンジ ・全国における自治体様の先進事例を展開

株式会社ＮＴＴデータ北海道	公共ビジネス事業部
当社ビジョンは「オモシロイで未来を変える」です。 「住民接点ソリューション」「健康データ利活用」を通じて、札幌市、企業と連携を強化しながら、市民ひとりひとりがよりウェルネスに興味を持ち、健康データを自分で管理・確認し、ウェルビーイングを実現する社会を目指すことに寄与します。	
NTT DATA	・アプリを用いた住民の健康意識向上と健康施策立案に活用する情報収集を目的とした取組 ・データ蓄積の仕組構築支援 ・札幌市様所有の新規・既存データの可視化と課題解決支援 ・DX情報提供、BPR検討支援

大塚製薬株式会社	ニュートラシューティカルズ事業部
弊社は、疾病の診断から治療までを担う「医療関連事業」と、日々の健康の維持・増進をサポートする「ニュートラシューティカルズ関連事業」の2つのコア事業を中心に、「世界の人々の健康に貢献する」企業を目指して日々活動しており、健康寿命延伸も大きなテーマの1つとなっております。弊社の製品・情報・リソースだけでなく、連携されている企業様・団体様とも協働させていただき、【ウェルネス】の推進に取組んでまいります。	
Otsuka	・健康課題（熱中症・朝食欠食・女性の健康・働き世代の食生活等）に対して、製品・協働事業・媒体等を活用した協働の取組み。 ・今後は他の連携企業様（特に生活者との接点の多い企業様）との協働をより深めてまいりたいと考えております。

株式会社オカモト	地域共創・フィットネス事業部
株式会社オカモトは、生活応援企業として、ガソリンスタンド、ホームエネルギー、自動車整備など様々な事業を展開しています。地域共創・フィットネス事業部はフィットネス事業を展開し、フィットネスクラブの運営や自治体と連携しての運動指導や指定管理施設（市の体育館やプール）の運営も行っております。	
オ! OKamoto	スポーツクラブJOYFIT/フィットネスジムFIT365を札幌市内で16店舗運営しております。市民の皆様に運動の習慣を付けていただけるよう、トレーニング体験やアドバイスを通して、運動効果が出るようサポートいたします。また、ヨガやエアロビクスの体験から運動の楽しさもお伝えできればと思っています。

小野薬品工業株式会社	プライマリー製品企画部 エリアサポート推進一室
糖尿病、腎臓病、心不全など生活習慣病の予防、早期発見・早期治療、重症化予防に係る正しい知識の普及啓発や、食事療法・運動療法などの啓発媒体を提供するなど、保健医療福祉関係者を通じて市民の健康寿命の延伸並びに、ウェルビーイングに貢献して参ります。	
ono	・地域医療連携システムの推進 ・医療従事者向け自社主催講演会の開催 ・糖尿病連携手帳提出促進立札の設置協力 ・循環器病に係る市民フォーラムの開催

オムロンヘルスケア株式会社	東部営業課
私たちは、2030年に向けたビジョンとして「Going for ZERO -予防医療で世界を健康に-」を掲げ、その実現をめざしています。脳・心血管疾患の発症ゼロを目指す「循環器事業」、小児ぜんそく患者の重症化ゼロを目指す「呼吸器事業」、薬の力を借りずに痛みの緩和を目指す「ペインマネジメント事業」の3つの事業領域にフォーカスし、私たちの強みであるデバイスやサービスの開発力と医療分野での知見を活用しながら、新しい予防医療を創出していきます。	
OMRON	・血圧、心電図などの健康測定イベントの実施・情報発信、啓発活動を通じ、市民の健康管理をサポート ・他企業様、自治体との連携した啓発活動

花王グループカスタマーマーケティング株式会社	ビジネス開発部門
花王は『きれいをこころに未来に』をテーマに、一人ひとりのいのちを輝かせるきれい、皆が笑顔で暮らせるきれい、持続可能な生態のきれい。この3つの領域のきれいに貢献することで豊かな共生世界の実現をめざします。 わたしたちは、花王の製品を通じて、社会の課題（「清潔・衛生」「健康」「美」「環境」）の解決にお役立ちできる提案で、皆様のウエルネスの推進に取り組んでまいります。	
kao きれいを こころに 未来に	・学校、企業、自治体に向けたウエルビーイングサポートのご提案。 ・各種企業に即した「健康経営」課題に向けたソリューションのご提案と「働く世代」への各種健康関連の講座の開催。

カゴメ株式会社	北海道支店営業推進グループ
「健康寿命の延伸」という社会課題解決にむけて、商品販売や健康サービス事業を通じて取り組んで参ります。農業から生産・加工・販売と一貫したバリューチェーンを持つ、世界でもユニークな企業である点が強みです。野菜摂取の大切さだけでなく、おいしく楽しく上手な摂り方を啓蒙し、「タベル」「ハカル」を通じて札幌市民の皆さまの健康に貢献して参ります。	
KAGOME	・商品販売だけでなく、推定野菜摂取量が見える化出来る「ベジチェック®」や健康セミナーなどの健康サービス事業を展開。 ・新しい概念として「ナトカリ比」や「ナトカリバランスマップ」というツールの啓発を行って参ります。 ・野菜摂取量の向上に向け、幼少期の野菜栽培体験機会を増やす植育(しょくいく)機会の提供を行って参ります。

株式会社カーブスジャパン	戦略企画部
・全国に「女性だけの30分フィットネス カーブス」を約2000店舗（札幌市内30店舗）展開、78万人の会員さんに通って頂いている。 ・札幌市の30店舗、12,000人の会員さんをベースとし、市からの健康情報のメンバーさんへの周知および周囲への拡散 ・各区と連携した健康イベントの開催、地域での健康啓発	
Curves カーブス	・既存健康イベントへの出展などを計画中 ・市内店舗での情報発信や健康イベントへの講師派遣などが可能 ・各大学や研究機関の先生監修の健康情報冊子などの無償提供も可能

キユーピー株式会社	札幌支店
北海道のすべてのお客様へ食に関わる様々な取組を通じて健康な食生活に貢献します。	
kewpie	◆野菜摂取量の拡大およびサラダファーストの啓発 ◆健康体験イベントの実施 ・親と子の食育新聞 ・myドレッシング診断 ・ドレッシング試食会

協和キリン株式会社	エリア戦略部 医療連携グループ
・慢性腎臓病に対する重症化予防について、医療機関と連携して取り組むことで、市民の健康寿命の延伸に繋げていきたいと思います。 ・難病等に対する疾病の啓発活動を行ってまいります。	
KYOWA KIRIN	・慢性腎臓病の重症化予防に関する講演会の開催 ・難病等に対する疾患啓発の活動

株式会社ゴールドウイン	札幌営業所
当社のパーパスは「人を挑戦に導き、人と自然の可能性をひろげる」自然をフィールドとして営みを通じてきたゴールドウインのモノづくり、コトづくり、環境づくりは、人間の可能性を拡張していくものであり、自然がより豊かになる可能性を探求していくものです。 スポーツの起源でもある「遊び」を通じて常識やルールを更新しながら、変化し続ける人間と自然のあるべき姿を常に模索し、これからの地球と人間をめぐる新しい未来の実現を目指します。	
Goldwin	「ザ・ノース・フェイス」をはじめとする当社ブランドの魅力を知っていただくための体験機会の提供（スポーツと日常をシームレスに繋げる） 日本最大規模の旗艦店であるTHE NORTH FACE＋サッポロファクトリー店をベースに札幌市の取組みテーマである中の「ウゴク」「トトノエル」のコトづくりを検討します。

サツドラホールディングス㈱（㈱サッポロドラッグストアー）	アライアンス推進チーム
ドラッグストア「サツドラ」を道内に約200店舗展開しております。「健康で明るい社会の実現に貢献する」を企業理念、ミッションとしドラッグストア他、調剤薬局、フィットネス事業等の事業運営、そして近年力を入れている地域・自治体連携事業においては、管理栄養士による栄養相談会の開催、ビューティートレーナーによる各種美容講座などを開催し、自社のリソースを活用し北海道の課題解決へ積極的に取組をおこなっております。	
SATUDORA HOLDINGS	・北海道最大級のドラックストア主催イベント「サツドラフェス」を例年9月頃開催 ・管理栄養士による各種セミナー、ビューティートレーナーによる美容講座など「美と健康」に関する講師派遣が可能 ・北海道内の複数自治体及び大学と包括連携協定を締結し、地域との連携事業についても実績多数 ・課題解決と事業性の担保を両立させることで一過性ではなく継続を前提とした事業モデルを構築したい

札幌テレビ放送株式会社	ＳＤＧs推進室
「どさんこワイド179」「どさんこワイド朝」をはじめとした自社制作番組を通じて、これからも道民・札幌市民の皆さまにウエルネスや食育などの情報をお届けしてまいります。また皆さまの健康の増進、体力の向上に貢献するために、これらをテーマとしたセミナーの開催やスポーツ中継の編成等にも引き続き務めてまいります。	
STV	・自社制作各番組での健康情報、食育事業等の発信 ・プロスポーツ公式戦の中継、ウインタースポーツの放送及び運営を通じた市民の健康づくりを応援 ・自社ホールでの健康づくりセミナーの開催 ・栄養バランスに配慮したオリジナル弁当の社内販売

サッポロビール株式会社	北海道本部 北海道戦略営業部
・「サッポログループ健幸創造宣言」を掲げ取り組みを強化、「健康経営優良法人2022」と「ホワイト500」の認定をいただきました。従業員が安心して働ける職場づくりを行っています。 ・健康志向の高まりを受け、世界初となるプリン体ゼロ、糖質ゼロ、人工甘味料ゼロのビールテイスト飲料「極ゼロ」を発売。近年伸長を続けている機能系ビールテイスト市場のさらなる活性化を目指しています。	
SAPPORO	・サッカー、バスケットボール、野球など多くのスポーツ球団へのスポンサードや、北海道マラソンをはじめとしたさまざまなスポーツイベントへの協賛を行っています。今後もスポーツに対する取り組みを行うことで創業の地である札幌市民の健康増進へ貢献してまいります。

札幌ヤクルト販売株式会社	広報室
成人･高齢者を対象とした健康セミナー、小中学生･幼児を対象とした出前授業など幅広い世代に向けたウェルネスの推進に貢献していきます。また、各行政団体と密に連携を取り、健康イベントの協賛や食育活動を進めていきます。	
人も地球も健康に Yakult	・札幌市見守り事業協定の継続 ・札幌市食育サポート企業としての食育活動 ・6月食育月間リーフレット制作 ・本気めしプロジェクトでの啓発品提供 ・お弁当レシピコンテスト協賛 ・イベントでの啓発品提供

サンスター株式会社	北日本支店
オーラルケア商品をはじめ、健康食品、スキンケア・ヘアケア、生活用品を通じお客様の健康課題解決に取り組んでいます。 そして、人生１００年時代、お客様がいつまでも健やかで心豊かな人生を過ごせるよう、お口の健康を起点とした全身の健康増進と、心身ともに健康で快適な生活環境づくりに寄与する製品・サービスを提供し、健康寿命の延伸に貢献することを目指しています。	
SUNSTAR	･お子様向けハミガキ啓発イベントの実施 ･協定締結パートナー様とのむし歯予防への取組 ･保健医療関連団体様と連携した歯間清掃具やマウスウォッシュの使用啓発

株式会社SHARE	
SHAREは、運動を通じて健康的な生活習慣を提供するフィットネスチーム（一次予防）、生活習慣病などの症状を改善するメディカルフィットネスチーム（二次予防）、そして病気や障がいと共に生きる方々をサポートするリハビリチーム（三次予防）の3つの組織体制で、全てのライフステージに対応しています。医療機関との連携や大学との共同研究、札幌市の特定保健指導受託機関など、産学官医連携を通じて、札幌から日本全国、さらには世界へとウェルビーイングを広げていくことを目指しています。	
SHARE	・運動機会や運動療法の提供（フィットネスクラブ） ・データに基づいたリハビリの提供（リハビリ施設） ・健康増進のためのイベント開催 ・オンラインでの食事・栄養指導 ・ウェルビーイングに向けた情報配信 ・ダイエットイベントの企画・運営 ・自治体・企業向けウェルネスサポート

資生堂ジャパン株式会社	美容戦略部社会活動企画推進G
私たち資生堂ジャパンは、あらゆる人々が、美の力を通じて、生涯にわたってより自分らしい生活を送っていただくため「化粧のちから」を通じたセミナー等を開催し札幌市民のみなさまの健康と美のサポートを行います。	
SHISEIDO	あらゆる方（高齢者・障がい者・がん患者）向けの講座やセミナーメニューを用意し、対象のみなさまの要望に寄り添った内容で対応していきます。

住友生命保険相互会社	札幌支社・北海道基盤戦略室
・当社は、健康増進型保険”住友生命「Vitality」”を軸に、社会全体への健康増進の働きかけや、健康経営の推進を行うことで「健康寿命の延伸」という社会課題の解決に取り組んでいます。 ・この取り組みを「CSVプロジェクト」と位置づけ「お客様」「社会」「会社・職員」とともに、健康増進という新しい共有価値を創造することで、「日本の健康寿命の延伸」を目指しています。	
あなたの未来を強くする 住友生命	札幌市様とのコラボ事業として「Vitality札幌ウエルネスウオーク」を２年連続で実施しました。 約１８００名の方に申し込んでいただき、事業を楽しめた（８１％）、運動を意識するようになった（８９％）と満足いただける内容となりました。令和７年にはパワーアップできるよう検討中です。

住友ファーマ株式会社	札幌営業所
住友ファーマは、「人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とし新たな価値を創造により、広く社会に貢献する」ことを理念とする製薬会社です。 糖尿病、精神神経領域において予防や早期発見・早期治療、重症化予防に係る正しい知識の普及に積極的に取り組むことで、患者さんやそのご家族のみならず広く一般市民のウェルネスを推進してまいります。	
Sumitomo Pharma Innovation today, healthier tomorrows	・疾患に関する市民公開講座の開催 ・健康情報サイトでの疾患情報の提供 ・日本糖尿病協会等と連携した患者・一般市民向け関連資材の提供 ・医療者向け自社主催講演会の開催　など

生活協同組合コープさっぽろ	医療連携事業部
コープさっぽろは北海道が拠点の地域生協です。合言葉「つなぐ」、「北海道で生きることを誇りと喜びにする」を理念に掲げ北海道の組合員の暮らしの向上を目指様々な事業活動を行っています。24年度からは内部職員の定期巡回健診の完全自前化を達成。組合員総数も200万人を突破し道内世帯加入率も80%を超え、25年度から一般組合員向けサービスとして拡大予定です。北海道人口も減少していく中で地域課題を事業で継続的に解決していく組織として、今後も北海道・地域に貢献していきます。	
つなぐ COOP SAPPORO	・北海道内での巡回健診、健診イベント ・特定保健指導の実施 ・インフルエンザワクチンの集団接種 ・医療機関との連携協定 ・食べる大切フェスティバル出展

西武・プリンスホテルズワールドワイド	札幌プリンスホテル
当社を含む西武グループでは、グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向け「サステナビリティアクション」に取り組んでおり、その一環として働きやすく、働きがいのある環境を整備し、個人そして組織の力を最大限発揮するために、社員および家族の健康増進を推進しています。2024年3月には、経済産業省および日本健康会議が共同で認定を行う「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」の認定を取得しました。今後も心身ともに健康で働きやすい職場づくりを推進してまいります。	
SEIBU PRINCE HOTELS & RESORTS	札幌市の掲げる「トトノエル」の睡眠をテーマに、リカバリーウエアのパジャマ、枕、マットレスをセットした客室で、ホテルステイでの快適な睡眠時間の提供で心と身体の回復を体験できる宿泊プランを企画しました。一人ひとりがカラダともっと向き合い、良いコンディショニングを日常に取り入れる活動を応援します。

ＳＯＭＰＯひまわり生命保険株式会社	北海道統括部、札幌第一支社、札幌第二支社、札幌第三支社

当社は保険本来の機能（Insurance）に、健康を応援する機能（Healthcare）を組み合わせ、お客さまが健康になることを応援する健康応援企業として、従来にない新たな価値「Insurhealth®（インシュアヘルス）」を提供しています。
健康増進に向けた各種アプリやサービスを展開しており、日常の健康づくりや認知症をはじめとした予防等について支援しています。

SOMPO ひまわり生命

・各介護予防センターと連携した各種講演や体験、測定会を開催。
・弊社が有する各アプリやサービスを他企業様等が有するコンテンツと組み合わせ、多角的に市民の健康増進についてのアプローチが出来ればと考えています。

第一生命保険株式会社	札幌総合支社

一人ひとりの価値観が多様化する今、地域に根ざす企業として、万一の際の「保障」をご提供するだけでなく、「資産形成・承継」「健康・医療」さらには人と人、地域や社会との新しい「つながり・絆」を通じて、お客さまのＱＯＬ（Quality of Life）の向上や地域の課題解決に貢献してまいります。

一生涯のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group

・各種セミナー（健康増進・がん予防・金融知識・終活など）を通じて地域の皆さまに情報提供し、予防啓発に取り組んでいます。
・毎年9月開催「ビジネス商談会」にて地域企業の皆さまと交流促進の場を提供しています（北海道との共催）。

大和リース株式会社 北海道支店	規格建築営業所 流通建築リース営業所

大和リースは「CSV（Creating Shared Value）」、「公の精神」に基づき、社会のさまざまな問題や課題を共有し、事業を通じてこれからの社会が必要とする商品やサービスを創造し提供していきます。
大学との協定や運営している行政関連施設・商業施設等を通じて地域に根付いたイベントを実施しております。

Daiwa Lease 大和ハウスグループ

運営を行っている施設において地域に根付いた健康イベントを実施してまいります
具体的にはHAPPY　WOMANFESTA　2025や
新さっぽろ健康フェスといった取組を予定しております。

田辺三菱製薬株式会社	営業推進統括本部　営業推進部 地域連携推進グループ

地域医療に向き合うトータルヘルスケアパートナーをめざして、糖尿病等の生活習慣病の発症および重症化予防の取組をサポートすることにより、札幌市民の健康寿命の延伸に貢献してまいります。

田辺三菱製薬

・糖尿病,慢性腎臓病の発症および重症化予防に係る医療従事者等の連携促進の取組
・市民に向けた生活習慣病に関する疾患啓発活動
・保健師,管理栄養士等の保健指導スキルアップに繋がる取組

株式会社ツルハ	営業推進部

北海道に432店舗、全国に1430店舗を展開（2024年3月15日現在）するドラッグストアチェーンです。地域に愛され、喜ばれる、「日本一のドラッグストアチェーン」を目指して「お客様の生活に豊かさと余裕を提供する」という理念のもと、地域医療の担い手として、より身近で、安心できるサービスをお届けすべく、お客様の視点に立った店づくりを展開しています。北海道の16の自治体と災害協定等を締結しております。札幌市様、企業様と協力し、市民のウェルネス推進に貢献していきたいと考えております。

ツルハドラッグ

「健康チェックイベント」を開催
「ツルハグリーンウォーク」を開催予定
「ランニングイベント」の開催を計画中

東京海上日動火災保険株式会社	札幌支店

①持続可能でより良い札幌市の未来の実現に向けた協力
②健康で快適な市民生活の向上への貢献
③市民の健康と魅力的なまちづくりへ向けての連携・協力

TOKIO MARINE NICHIDO

従来の保険領域である「万が一の際の安心のご提供」に加えまして、「普段使いの健康ソリューション（予防・早期発見・再発予防）をご提供することで、お客様を平時からお守りできる新たな価値を創出」し、ヘルスケア分野における社会課題の解決に貢献を致します。

TOPPAN株式会社	北海道事業部

ウォーキングアプリや高齢者ICT支援アプリなどのヘルスケアDXサービスや通いの場立上支援サービスの提供、大学/大学病院との連携による施策立案で市民の健康寿命延伸に取り組みます。認知症の発症/重症化予防では大学に包括連携拠点部門を設置し、共同研究に取り組んでおります。

TOPPAN

・健康イベントのコンテンツ作成/運営
・高齢者のICT化
・ヘルスケア関連のデータ分析
・健康施策や認知症予防施策の立案を目指し、協力企業・団体を探しております。

日本経済新聞社札幌支社	広告担当

日本経済新聞や日経電子版を中心に皆様の健康や健康経営などお役に立てる情報を発信してまいります。また日経・FT感染症会議やなど様々な健康関連イベントも多数実施しており、皆様に役立つ情報をお届けしてまいります。

NIKKEI

・日本経済新聞を通じてのウエルネス情報の発信
・「北海道企業対抗ゴルフ」を主催し企業や市民の健康づくりをサポート
・ウエルネス関連のイベントの実施や講師の派遣を検討してまいります

日本ハム株式会社	経営企画部　北海道プロジェクト
当社は「たんぱく質を、もっと自由に。」をグループビジョンに掲げ、人々の生きる力となるたんぱく質の安定供給を通じて、社会課題の解決に貢献して参ります。	
Nipponham	・食育活動として、ウインナー飾り切り教室、手作りウインナー教室、学校給食への食材提供、プロスポーツ選手への栄養指導を行っています。 ・商品を通じた健康サポートとして、食物アレルギーケアや減塩、高たんぱく食品、サプリメントなどにも取り組んでいます。

日本生命保険相互会社	札幌支社
・さっぽろ圏を中心に、約750名の営業職員が幅広い健康情報を提供しており、特にがん検診の受診勧奨に注力しています。 ・健康・元気・体力増進に繋がるスポーツ啓発の一環として、プロ野球セ・パ交流戦へのスポンサードの他、弊社女子卓球部や野球部などのコーポレートスポーツ選手や、スポンサードプロチーム・プロ選手の派遣によるスポーツイベントも開催しています。 ・従業員様の「Well-being」実現に向け、「リスクに備える」保険に加えて、「リスクを抑える」ヘルスケアサービスを提供し、健康な方から健康不安のある方まで幅広いお客様を支援することで、健康寿命延伸への貢献を目指しています。	
NISSAY	・引続き、営業職員による健康情報の提供、および、健康に関するセミナーやイベントによる健康増進啓発に注力します。 ・人的資本経営や健康経営への関心・期待の高まりに対し、健康増進や健康経営支援等、各種サポートサービスやヘルスケアサービスを充実させ、健康の自己実現に加え「環境整備」にも尽力します。 ・上記を通して健康寿命の延伸と札幌版ウエルネスの実現に貢献します。

株式会社白寿生科学研究所	ブランド広報グループ
家庭用電位治療器ヘルストロンの宣伝・販売、健康食品の販売を行っているハクジュプラザを全国450店舗、市内には12店舗展開中。地域の健康コミュニティとして、”適度な運動”・”バランスのとれた食事”・”ゆとりある精神”を基本としたウェルネスの情報を提供しています。地域の健康情報発信拠点として、あらゆる世代のウェルネスに貢献していきます。	
HAKUJU INSTITUTE FOR HEALTH SCIENCE	・自社顧客を中心とした健康セミナー・イベントの開催（2023年10月に開催.400名参加） ・市内介護予防センターとの連携（フレイル・認知症予防等） ・高齢者に対して社会的健康（コミュニティ参画）の重要性を啓蒙啓発に力を入れていく。

ファイザー株式会社	
企業目的:患者さんの生活を大きく変えるブレークスルーを生みだす 事業概要:ファイザーでは、医療用医薬品やワクチンの研究開発、製造、販売を通じて患者さんに貢献しています。	
Pfizer ファイザー	いきいき健康･福祉フェアやその他の機会を通じて、市民への予防医療の情報発信など

株式会社ファミリーマート	北海道・北東北リージョン
コンビニエンスストア「ファミリーマート」を国内に16513店、札幌市にて151店（7月30日現在）展開しております。コーポレートメッセージとして「あなたとコンビにファミリーマート」を掲げており、「美味しい嬉しい安心」をテーマに、ＰＢ商品ファミマルシリーズを2021年からスタート。好評を頂いており、ラインナップも充実化させています。商品や店舗を通して札幌市の健康寿命延伸に寄与したいと思います。	
あなたと、コンビに、FamilyMart	・フードドライブを店舗にて展開。 ・行政との協業推進。「野菜接種強化月間」ポスターの展開とパンフレットの配架。 ・オープンケースにて食育応援の啓蒙。

株式会社ホクノー	本社 ヘルスケア・ウェルフェア室
厚別区で５店舗のスーパーを経営しておりますが、食料品の販売だけでなく、地域住民の暮らしや健康など生活全般を包括してサポートする取り組みを行っています。 その取組の一環としてスーパーの2階に「ホクノー健康ステーション」を運営し、地域住民のコミュニティの拠点となっています。	
	・ホクノー健康ステーションにおける各種健康イベントの開催。 ・ホクノー健康ステーションの情報コーナーでのチラシやパンフレットの配架。 ・「ホクノー健康ステーションモデル」のスキームの説明、事例紹介などの講演。

北海道味の素株式会社	家庭用部
私たちは、味の素グループの北海道代表として「食」を通じ、関わる全ての人々の幸せな生活に貢献し続けます。私たちは、誰よりも北海道を愛し、「道民視点」で付加価値を生み出し提供することで、ここ北海道で愛され、信頼され、必要とされる存在で有り続けます。	
Eat Well, Live Well. 北海道味の素株式会社	・食と運動に関するイベント ・食品量販店と連携した店頭での健康イベント ・自治体と連携した健康増進イベントの協賛

北海道キリンビバレッジ株式会社	
当社は、北海道の皆様に清涼飲料水をお届けしています。きめの細かいマーケティング活動と、地元に密着した営業活動の展開により、『お客様の笑顔づくり』のためにお役立ちできるよう従業員全員で努力しております。 また、コンプライアンスやCSV（共通価値の創造）にも積極的に取り組むことで、社会や環境との調和を図り、北海道の地元企業として『なくてはならない存在』であり続けたいと考えております。	
よろこびがつなぐ世界へ KIRIN	げんきな免疫プロジェクトとさっぽろウェルネスでのポスター制作と公共施設などへの掲出、啓発活動

北海道コカ･コーラボトリング株式会社	広報・サスティナビリティ推進部
私たちは、昨年創立60周年を迎えた、北海道を事業エリアとする「どさんこ企業」です。「北の大地とともに」をスローガンに掲げ、事業活動を通じて、北海道の魅力を次世代へと継承し、持続可能な社会の実現に貢献することを使命としております。 これからも地域の皆さまや各企業・各団体と連携し、安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくりを目指し、地域の課題解決に向けて幅広い活動を継続してまいります。	
	【健康づくりの取り組み方向性】 ・ウォーキングを通じて健康意識の醸成や体力づくりへの貢献（CokeOnウォーク・SAPPOROウォークチャレンジ・ウォーキングイベント出店） ・飲料を通じて健康の大切さを学ぶ機会の創出（セミナー） 【検討中の取り組み】 ・各企業様とコラボしたイベント ・楽しく健康意識できる新たなコンテンツ

株式会社北海道新聞社	営業局
「あなたとつくる　北海道の未来」をスローガンに、北海道新聞や北海道新聞デジタル、各種イベントなど「紙とデジタルとリアル」を通じて北海道・札幌の健康づくりに貢献していきます。	
	・自社発行媒体でのウェルネス関連情報発信。 ・ほっかいどう大運動会、北海道マラソンなどを運営し、企業・市民の健康づくりを応援。 ・本社の創成イースト移転や大札新パートナーズ加盟を期に、街歩きを軸とした札幌中心街活性化イベントを検討中。

北海道テレビ放送	ワークライフバランス・ダイバーシティ推進部
ＨＴＢでは「イチモニ！」や「イチオシ!!」を中心とした番組やイベントを通じて、健康的な毎日を過ごすための情報・コンテンツを、生活者にわかりやすくお届けしています。また2022年には「サステナ！宣言」を行いＳＤＧｓ活動を推進、【誰もが健康で活躍できる社会】に貢献するよう、積極的に取り組んでまいります。	
	・道民の体力向上を目指すプロジェクト「筋肉道」を展開。どんな人でも楽しみながら続けられるトレーニングや、健康豆知識、食育など、さまざまな角度でウエルネス情報を発信 https://www.htb.co.jp/kinnikudou/ ・「onちゃんおはよう体操」をWebやイベントで随時実施、楽しんでからだを動かし、健康づくりを推進

北海道文化放送株式会社	経営管理局経営企画部
「みんテレ」「発見！タカトシランド」など、地元に根ざした番組を制作しています。「みんテレ」は、働くママをメインターゲットとして、日々の生活や育児、家事などに毎日全力で頑張るママに寄り添いたいという思いで番組を作っています。 番組を通して、北海道で暮らす全ての人の心と体の健康に寄与するテレビ局でありたいと願っています。	
	・「夢応援塾」は北海道の子どもたちにスポーツ体験を通じて夢を育む機会を創るためのジュニアスポーツプロジェクトです。ジュニアスポーツを応援し、地域を盛り上げる貢献活動を通じて、地域の豊かな環境作りを目指します。 ・「北海道マラソン」「北海道meijiカップゴルフ」「北海道米そり選手権」といったスポーツイベントを通して皆さんの健康作りを応援します。

北海道放送株式会社	経営企画局
夕方ワイド番組「今日ドキッ！」での展開を中心に、取材力・企画力を活かし健康情報などを全道へ発信しています。４月には北海道の食の価値を深掘りする「いっちゃんおいしいHBC」プロジェクトを立ち上げ、食を通じた健康増進への情報の発信により力を入れていきます。自社での取り組みはもちろんのこと、他社・各団体のウェルネスへの取り組みも積極的に発信していきます。	
	・ウェルネス関連の各イベントの様子をワイド番組、ニュースで放送 ・ウェルネスイベントへの協賛の検討 ・「赤れんがプレミアムフェスト」や「HBCラジフェス！」自社イベント内でのブース展開やステージ企画の実施

ミズノ株式会社	北日本営業部
スポーツの力で働く人を笑顔に、社会を元気に。いま、市民、従業員の健康が、市政に経営にも効果をもたらすという健康寿網の延伸・健康経営の考え方が、広がっています。健やかな心身で働き続けることは、労働生産性の向上などに直結する大切な要素であり、また長期的には健康保険料の負担削減につながるとも言われ、積極的に健康づくりに取り組みことが求められています。ミズノは健康づくりプログラムやスポーツの機会をご提案、またスポーツで培ったさまざまなソリューションをご提供することで、みなさまを笑顔に・元気にいたします！	
	ミズノはスポーツの力を通じて、自治体の課題解決、企業の健康経営の課題解決をサポートいたします。スポーツで培った見地から、全国各所の体育施設で実施している子どもからシニアの方々へ多彩なオリジナルの運動プログラムを活用して地域を健康に笑顔にしてまいります。

株式会社　明治　北日本支社	企画部　ダイレクトリレーション２課
当社は赤ちゃんからお年寄りまであらゆる世代のお客様に向けて、粉ミルク、牛乳・乳製品、菓子、スポーツ栄養、流動食など幅広い商品を提供しています。「食と健康のプロフェッショナル」として、食のおいしさ・楽しさ・心身両面での健康価値の提供を通じて、お客様の生活充実に貢献していきます。	
	「健康な食生活」や「乳・カカオ豆を中心とした素材」をテーマに、ココロとカラダの健康を目指して食育活動を推進しています。また、トップアスリートへの栄養指導経験を活用したスポーツ栄養セミナーなども実施しており、幅広いテーマ・年代に向けた講師派遣が可能です。

明治安田生命保険相互会社	札幌支社
健康増進を応援する「みんなの健活プロジェクト」、豊かな地域づくりへの貢献をめざす「地元の元気プロジェクト」これらを通じ、地域のみなさまと協働し、地域の発展に貢献することを掲げて活動を行なってまいります。	
	・自社主催で他企業とも連携したウォーキングイベント（7・10月）を開催 ・健康増進に係るイベント（大人の塗り絵コンクール、血管年齢測定など） ・定期講座など実施 ・健康と地域創生を軸に、企業・団体とも協働して、活動の幅を広げてまいります

森永乳業北海道株式会社	地域包括連携プロジェクト
森永乳業グループは、1925年より北海道にて事業を開始し、2010年以降は現地法人として森永乳業北海道株式会社を設立することで、地域のみなさまとのより深い共生を図ってまいりました。直近では、健康増進や子育て支援に関連するイベントへの協賛や出展のほか、献血、清掃活動など、幅広い地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。	
morinaga	【取組計画】 1．小学生向け親子料理教室 2．他企業様との協働取組（イベント出展） 3．啓発品の提供 【取組みたい方向性】 ・協定締結パートナーと連携した協働取組み

雪印メグミルク株式会社	北海道支社
＜乳（ミルク）による食と健康への貢献＞ 総合乳業メーカーにおける研究開発の中心的な担い手としてミルクの価値と可能性を徹底的に追求し、その成果を独自性のある新商品開発につなげ、お客さまに「おいしさ」と「健康」をお届けすることを目標としています。	
雪印メグミルク	・札幌市への寄附事業「スポーツ振興寄付金」の活用によるスポーツイベントの開催。 ・札幌市の学校、栄養士会などに講師の派遣。 ・各区健康増進イベント協賛（骨の健康チェック、講演、ロングライフ牛乳の提供） ・小学生を対象に食育プログラム（出前授業）の実施。

ライオン株式会社	札幌オフィス総務室
オーラルケア商品をはじめとして洗剤、薬品等の多岐にわたる商品の製造販売及び海外現地会社への輸出を行っております。これらの商品は日々の生活の中で消費者の健康を支える役割を果たしております。今後もオーラルケアをきっかけとした市民へのウエルネス活動を推進して参ります。	
今日を愛する。LION	・小学生歯みがき大会の実施（毎年6月） ・口腔衛生全般に関わる情報小冊子作成 ・自社製品の試供品提供 ・札幌市歯科口腔保健推進条例との連携検討 ・法人様向けウエルビーイングサービスである「おくちプラスユー」の導入検討

株式会社良品計画	北海道事業部
無印良品を札幌市内で12店舗展開しております。我々は、「人と人、人と自然、人と社会をつなぐプラットフォームでありたい」と考えております。高齢化が進み、健康への感心と不安が増している社会の中で、健康に関する取組を気軽に実践できたり考えたりできる活動を通して、市民の皆様のウェルネスへの貢献を目指して参ります。	
無印良品	・ウォーキングを軸とした体を動かすイベント ・健康や眠りに関するセミナーの開催 ・市や区の発信する情報の配架協力

株式会社ルネサンス	スポーツクラブルネサンス アリオ札幌/札幌平岸
市内に2店舗あるスポーツクラブ運営を軸として、地域の皆様の健康づくりのため「運動」環境を提供し、ウェルネスを高めてまいります（ジム、プール、テニスコート、風呂・サウナなど）。 また、店舗運営のみならず、近隣自治体・企業に対し、働く世代～高齢者までの幅広い層を対象とした健康づくりセミナーを実施いたします。	
RENAISSANCE	・市内2店舗での情報発信や、指導者の派遣（運動・脳トレ等さまざま）が可能。 ・施設を開放してのイベント開催などもご相談ください。 ・学校水泳に関わるコーチ派遣や部活動の地域移行に関わるトレーナーの派遣など、若者世代への協力もできればと考えます。

株式会社ローソン	北海道カンパニー
お客さまの身近なコンビニエンスストアだからこそできる、健康で長寿な暮らしをサポートすることにより、“近くにいつものローソンがあるから安心”と言っていただけるような存在でありたいと考えています。そこで、毎日の食を通して健康な身体をつくる「ミールソリューション」と、万が一お客さまが健康に不安を感じられたときに相談に乗り、健康維持のお手伝いをする「セルフメディケーションサポート」の二本柱で、マチの健康で長寿な暮らしをサポートします。	
LAWSON	・健康に配慮した商品開発 ・生鮮商品への取り組み ・ＯＴＣ医薬品（市販薬）の取り扱い ・自治体と連携したコンビニ健診

ロート製薬株式会社	HB東日本事業部 札幌営業所
当社経営理念の1つである「ロートは、社会の公器としての使命を自覚し、ロートを取りまく全ての人たちと協働して社会課題を解決し、これにより得られた便益を共有する」という理念のもと、 全国の自治体様、企業様、大学様などと連携しながら進めている地域課題解決の活動に力を入れておこなって参ります。	
ロートは、ハートだ。ROHTO	札幌市(北海道)全体の課題である”食品廃棄問題”、”健康問題”に対して牛乳廃棄問題への取り組み、健康増進に向けた取り組みをおこなっていく予定です。

札幌商工会議所	産業部　生活・サービス産業課（健康・文化部会）
札幌商工会議所は、主に札幌市内に事業所をおく企業や団体で構成される北海道最大の経済団体で、会員企業は業種ごとに「部会」に所属しています。そのうち、医薬、医療、教育、文化、スポーツ、娯楽、福祉等の業界の集まりが「健康・文化部会」です。 健康・文化部会では、会員企業のそれぞれの課題や現状を集約しながら、「健康寿命の延伸」に繋がる各種施策に取り組んでいます。	
	「健康寿命の延伸」に繋がるセミナー、イベントの企画・運営の他、業界振興に関わる情報提供事業や実証実験事業に取り組んでいます。 また、「カルチャーナイト」や「八月祭」、「ミニさっぽろ」等、既存の市民向けイベントに積極的に関わっています。

札幌市農業協同組合（JAさっぽろ）	経営企画部　広報課
・農業の未来と豊かな暮らしを目指して、組合員のみなさまと地域のみなさまのために価値あるサービスの提供をしていきたいと考えております。 ・都市型農協として、農と都市を、農と人をなど、食と農に携わるすべての方の想いや紡ぐ企業を目指してまいります。	
JAさっぽろ	①食農教育活動の展開 （一般的な食育活動に加えて、それを支える農業や地域、自然との関わりなど、食を支える地域の農業活動を知り、体験して頂くこと） ②食・農のイベントの開催（生産者交流） ③献血促進活動

北海道ヘルスケア産業振興協議会	北海道ヘルスケア産業振興協議会事務局
北海道において、医療・介護機関と民間サービス事業者等との連携を促進することで、地域特性を踏まえたヘルスケア産業を創出・育成し、地域における住民の健康寿命延伸、新産業・雇用創出、医療・介護費の適正化に貢献することを目的としています。 様々な業種・業態の企業や団体が参加している強みを生かし、「医療・介護機関×異業種」、「異業種間の連携」、「官民共創」を促進しています。	
Hokkaido Health Care Initiative 北海道ヘルスケア産業振興協議会	会員として札幌市様や多くの市内企業に参画いただいており、自治体、企業、市民と連携した新たなヘルスケアサービス創出等を進めていきたいと考えています。

三井物産株式会社	北海道支社
北海道において総合商社の機能を発揮し、在北海道のグループ関係会社との連携も進めながら地場ニーズに沿った商材・サービスの展開に努めています。様々な方面から、北海道のさらなる発展に貢献したいと考えています。	
MITSUI&CO. 三井物産株式会社	三井物産グループ会社との連携機会のコーディネートや健康経営支援事業・EAP事業・健康を作る食関連の事業展開を通してウェルネスの推進に取り組んでまいります。

スポーツのチカラ×まちのミライ
スポーツのチカラ×まちのミライ THE POWER OF SPORTS × FUTURE OF THE CITY
スポーツが持つチカラ「心と身体の健康づくり」、「生きがいづくり」、「子どもの健全育成」、「経済活性化」、「地域コミュニティの振興」そして「夢や希望や勇気を与える」などのまちづくりに欠かせない力を活用し、プロスポーツチームや民放テレビラジオ局と一体となって「スポーツによるまちづくり」を目指します。

株式会社コンサドーレ	株式会社まちのミライ
スポーツによるエンターテイメント、アクティビティを軸に、パートナー企業・サポーターを始めとする北海道に関わる人々への活気あふれる生活の提案や、北海道の発展に貢献していきたいと思います。新会社「株式会社まちのミライ」は、コンサドーレでの経験やノウハウを活かしながら、人々の自己肯定感の創出や関係人口の増加、健康寿命の延伸、産業の活性化などを目指します。そのために＜ウェルネス・共生・活性化＞をテーマに、北海道全域を盛り上げる多彩な取り組みを実施していきます。	
CS HOKKAIDO CONSADOLE SAPPORO	「スポーツのチカラ×まちのミライ」の目的に則り、スポーツ興行、サッカー・バドミントン・カーリング等を活用したスポーツ教室、ホームゲームの就労支援や新生児へのスタイ配布等、「健康づくり・生きがいづくり・経済活性化・子どもの健全育成・地域コミュニティの振興 等」を重点に活動をしています。

北海道イエロースターズ	広報部
札幌を拠点とする男子プロバレーボールチーム（新Vリーグ所属）/昨年はV2リーグにて優勝、今シーズンも初代新Vリーグ王者を目指して現在首位。プロスポーツの力で北海道を盛り上げていくべく様々な地方自治体や企業と提携し活動中。	
HOKKAIDO YELLOW STARS	スポーツの体験イベントには基本的に参加、プロスポーツ選手と触れ合うという機会を作り、運動・ウェルネスといった分野を積極的に宣伝。

株式会社レバンガ北海道	営業部
プロバスケットボールの試合観戦や応援を通じて、生きがい創出や趣味充実などウエルビーイングへの寄与に貢献したいと考えています。また定期的に小学校へのボール寄贈や選手による学校訪問、子どもたちを対象とした試合招待等を行い、育成年代におけるスポーツ振興や健康増進の機会創出を目指しています。 その他、地域のお祭りやイベントにも積極的に参加するなど、地域密着型プロスポーツクラブとして活動を続けています。	
LEVANGA HOKKAIDO	今後も小学校へのバスケットボール寄贈や、選手による学校訪問、バスケ教室の開催などを予定。 昨年度からは専属チアダンスチームによるダンス教室なども開催するなど、プロバスケチームが持つリソースを最大限に活用して、地域や企業の皆さまとの交流を深めたいと思っています。

【別紙３】

個人情報取扱安全管理基準

１　個人情報の取扱いに関する基本方針、規程及び取扱手順の策定

個人情報の適正な取扱いの確保について基本方針を策定していること。

また、以下の内容を記載した個人情報の保護に関する規程及び個人情報の取扱手順等が定められていること。

(1) 組織的安全管理措置

(2) 人的安全管理措置

(3) 物理的安全管理措置

(4) 技術的安全管理措置

※　上記(1)～(4)の具体的内容については、個人情報保護委員会ホームページ（https://www.ppc.go.jp）に掲載されている「個人情報の保護に関する法律についての事務対応ガイド（行政機関等向け）」の「４－３－１」の「安全管理措置（法第６６条）」を御確認ください。

２　個人情報の取扱いに関する総括保護管理者及び保護管理者の設置

個人情報の取扱いに関する総括保護管理者及び保護管理者が定められており、基本方針、規程及び個人情報の取扱手順等に明記されていること。

３　従業者の指定、教育及び監督

(1) 個人情報の秘密保持に関する事項が就業規則等に明記されていること。

(2) 個人情報を取り扱う従業者を指定すること。

(3) 個人情報の取扱い、情報システムの運用・管理・セキュリティ対策及びサイバーセキュリティの研修計画を策定し、従業者に対し毎年１回以上研修等を実施していること。また、個人情報を取り扱う従業者は、必ず１回以上研修等を受講している者としていること。

(4) 総括保護管理者及び保護管理者は、従業者に対して必要かつ適切な監督を行うこと。

4　管理区域の設定及び安全管理措置の実施

(1) 個人情報を取り扱う管理区域を明確にし、当該区域に壁又は間仕切り等を設置すること。

【管理区域の例】

・　サーバ等の重要な情報システムを管理する区域

・　個人情報を保管する区域

・　その他個人情報を取り扱う事務を実施する区域

(2) (1)で設定した管理区域について入室する権限を有する従業者を定めること。

また、入室に当たっては、用件の確認、入退室の記録、部外者についての識別化及び部外者が入室する場合は、管理者の立会い等の措置を講ずること。さらに、入退室の記録を保管していること。

(3) (1)で設定した管理区域について入室に係る認証機能を設定し、パスワード等の管理に関する定めの整備及びパスワード等の読取防止等を行うために必要な措置を講ずること。

(4) 外部からの不正な侵入に備え、施錠装置、警報措置及び監視装置の設置等の措置を講ずること。

(5) 管理区域では、許可された電子媒体又は機器等以外のものについて使用の制限等の必要な措置を講ずること。

5　セキュリティ強化のための管理策

情報資産の盗難、紛失、持出し、複写・複製、目的外の使用及び第三者への提供を防止するため以下の対策を実施していること。

(1) 個人情報の取扱いに使用する電子計算機等は、他のコンピュータと接続しない単独による設置又は当該業務に必要な機器のみと接続していること。また、インターネット及び当該業務を実施する施設外に接続するイントラネット等の他のネットワークに接続していないこと。ただし、本市の許可を得た場合はこの限りでない。

(2) 個人情報の取扱いにおいてサーバを使用している場合は、当該業務を実施する施設内に設置していること。また、サーバへのアクセス権限を有する従業者を定めること。さらに、部外者のアクセスは必要最小限とし、管理者の立会い等の措置を講ずること。ただし、本市の許可を得た場合はこの限りでない。

(3) 個人情報の取扱いにおいて使用する電子計算機等は、アクセス権等を設定し、使用できる従業者を限定すること。また、アクセスログやログイン実績等から従業者の利用状況を記録し、保管していること。

(4) 記録機能を有する機器の電子計算機等への接続制限について必要な措置を講ずること。

(5) 本市が貸与する文書、電子媒体及び業務にて作成した電子データを取り扱う従業者を定めること。

(6) 業務にて作成した電子データを保存するときは、暗号化又はパスワードにより秘匿すること。また、保存した電子データにアクセスできる従業者を限定するとともにアクセスログ等から従業者の利用状況を記録し、契約期間終了後、１年以上保管していること。

(7) 本市が貸与する文書及び電子媒体は、施錠できる耐火金庫及び耐火キャビネット等にて保管すること。また、書類の持ち出し記録等を作成していること。

(8) 個人情報の取扱いにおいて使用する電子計算機は、従業者が正当なアクセス権を有する者であることをユーザ ID、パスワード、磁気・IC カード又は生体情報等のいずれかにより識別し、認証していること。

(9) 個人情報の取扱いにおいて使用する電子計算機は、セキュリティ対策ソフトウェア等（ウィルス対策ソフトウェア等）を導入していること。

(10) 業務にて作成した電子データを削除した場合は、削除した記録を作成していること。また、削除したことについて証明書等により確認できる措置を講ずること。

(11) 個人情報の取扱いにおいて使用する電子計算機等を廃棄する場合は、専用のデータ削除ソフトウェアの利用又は物理的な破壊等により、復元不可能な手段を採用すること。

(12) 本市の許可なく第三者に委託しないこと。

6　事件・事故における報告連絡体制

(1) 従業者が取扱規程等に違反している事実又は兆候を把握した場合の管理者への報告連絡体制を整備していること。

(2) 情報の漏えい、滅失又は毀損等事案の発生又は兆候を把握した場合の従業者から管理者等への報告連絡体制を整備していること。

(3) 情報の漏えい、滅失又は毀損等事案が発生した際の本市及び関連団体への報告連絡体制を整備していること。併せて、事実関係の調査、原因の究明及び再発防止策の検討並びに決定等に係る体制及び手順等を整備していること。

7　情報資産の搬送及び持ち運ぶ際の保護体制

本市が貸与する文書、電子媒体及び左記書類等に基づき作成される電子データを持ち運ぶ場合は、施錠した搬送容器を使用すること。また、暗号化、パスワードによる保護、追跡可能な移送手段等により、破損、紛失、盗難等のないよう十分に配慮していること。

8　関係法令の遵守

個人情報の保護に係る関係法令を遵守するために、必要な体制を備えていること。

9　定期監査の実施

個人情報の管理の状況について、定期に、及び必要に応じ、随時に点検、内部監査及び外部監査を実施すること。

１０　個人情報取扱状況報告書の提出

本市の求めに応じ、又は当該業務契約に基づき、各月の期間ごとの役務完了の書面提出時において、本市が指定する様式にて個人情報取扱状況報告書を提出すること。

１１　情報セキュリティマネジメントシステム（以下「ISMS」という。）又はプライバシーマーク等の規格認証

ISMS（国際標準規格 ISO/IEC27001:2013、日本工業規格 JISQ27001:2014)、プライバシーマーク（日本工業規格 JISQ15001:2006）等の規格認証を受けていること。